

Audax Japan 2005 年総会議事録

開催日時：2005 年 10 月 22 日 15:00-17:00

開催場所：静岡県御殿場市 YMCA 東山荘

参加人数：出席者数 127 名、（うち書面表決者 99 名）

10 月 22 日時点での Audax Japan 会員数は 497 名であり、Audax Japan 会則第 18 条の定める有効出席者数は 100 名である。本総会の出席者数は 127 名であり、有効出席者数以上なので本総会は成立する。

1. 第 1 号議案（クラブの名称）

総会時点まで暫定的なクラブの名称 Audax Japan を正式なクラブの名称とすることについて異議はなく。賛成多数で合意を得た。

2. 第 2 号議案（BRM 出走、主催を AJ 会員以外でも可能にする）

事前の会長の提案に基づき、「会員以外の BRM 出走を 2006 年以降可能にする。BRM 主催者についても 2008 年以降会員外でも主催可能にする。」ことについて、AJ 会員一括団体保険加入を継続することを前提条件に審議が行われ、合意を得た。

さらに、主催者については 2007 年の P.B.P. が終了してからということでまだ時間的な余裕があるが、出走については 2006 年度から会員以外での参加可能になるので、保険と認定料について具体的な議論が行われた。保険の確認が煩雑になる等、主催者の作業が煩雑になることへの懸念が表明された。

最終的に会長によって提出された会員制のオープン化に伴う保険形態案での運用への合意が確認された。

認定料については案によれば「非会員は認定料 500 円を完走后その都度主催者に払う。」こととなっている。これについて以下の意見が述べられた。完走後の会場での金銭の出納は煩雑で、しかもメダルを含めると参加者毎に多くのバリエーションが生じ、間違いの発生確率を上げる。そのために人員の増補などが必要となるが、根本となる煩雑な作業を回避して主催費を抑制したい。また、非会員は完走した人のみが認定料を払うというシステムに対し、AJ 会員は途中棄権や出走取りやめの際でも認定料を払っていることと比較して不平等であるという観点もある。

その結果、非会員は参加申し込み時に参加費に認定費分も含んで徴収する案が提案された。つまり、たとえば AJ 会員の参加費は 1500 円の時、非会員は 2000 円と参加費の差分をつける方法である。ここで問題となるのは、現在、参加費の上限を 2000 円に設定していることである。認定費と参加費の区別は主催者内部の問題であり、外部から見ればどちらも参加費とみなされて当然である。したがって認定費を仮に 500 円とすれば、主催者は上限 1500 円の参加費で運営を行わなければならない。ここで、各 AJ 主催者クラブに対し、1500 円で運営が可能か意見聴取が行われた。今年度の実績を踏まえると、どのクラブも認定費を参加費に含むことが可能であるが、一層の運営努力が必要であるという結論が出た。

ただし、差分が少なければその分運営費に回せるので、概算で決めた 500 円ではなく、実績等を踏まえて正確に認定料を設定してほしいとの意見が出た。また、500 円には (200km-600km までの) 4 回以上 BRM を走行すれば認定料のボリュームディスカウントがあることが、非会員に対する会員への直接的還元であるという理由も示された。

これらの議論をふまえ、認定料の結論として以下の合意を得た。

参加費は 2000 円を上限とし、会員と非会員で差額をつける。差額は今後詳細を検討する。

3. 第 3 号議案 (組織変更)

提案に対して異議なく、合意を得た。

付随して AJ 会員以外の主催者の権利についての質問があったが、AJ 会員以外の主催者は会長、副会長の選出権利等はない(あくまでクラブ外である)ことを確認した。

4. その他の議案

未成年者の扱いについて。現在では 18 歳以上であることを参加条件にしているが、20 歳未満の場合に保険契約上保険の適用外、および、各都道府県の条例で 20 歳未満の夜間活動が禁止されていることから、BRM の参加に問題が生じることが判明した。これらの理由を元に参加可能年齢を 20 歳以上に引き上げる(保険適用されないのも、保護者同伴でも不可である)ことが合意された。

5. 会計報告

本年度分の ACP からの請求が来ていないので最終報告は不可能である。

10 月 22 日時点での会計報告と、年度末に ACP から請求される予定金額が示された。

単位：円

収入			支出		差し引き
繰越金	23,337		保険料	1,436,830	
会費	2,475,000	495 人	通信運搬費	183,405	
BRM 収入等	765,044		SE 基本料	73,500	
	0		印刷代	118,797	
			その他	110,250	
合計	3,263,381			1,922,782	1,340,599

ACP 支払い項目

単位:円

項目	購入数	概算金額	
		単価	金額計
メダル代	590 個	1,000	590,000
カード代	2000 枚	100	200,000
認定料	約千人	100	100,000
RM 年会費			5,000
その他			?
合計			895,000

上記差し引き額 1,340,599 円から ACP 支払い額 895,000 円(概算)を引いた 445,599 円(概算)が余剰金である。

6. 来年の BRM 開催予定

2006 年には以下のように各地で 55 回の BRM 開催を予定している。

主催者	200	300	400	600	1000
AJ 北海道	2006/4/16	2006/6/17	2006/7/15	2006/9/23	
	2006/5/6	2006/7/15	2006/8/13		
	2006/6/18	2006/8/13	2006/9/23		
	2006/7/16	2006/9/23			
	2006/10/8				
AJ 宇都宮	2006/3/12	2006/4/8	2006/5/6	2006/7/8	
AJ 埼玉	2006/1/29	2006/2/25	2006/3/25	2006/4/29	
AJ 千葉	2006/2/12	2006/4/9			
AJ 神奈川	2006/3/5	2006/3/26	2006/4/23	2006/9/23	
	2006/4/9	2006/5/14		2006/6/4	
AJ 静岡	2006/2/19	2006/3/18	2006/4/22	2006/5/27	

AJ 中部	2006/4/9	2006/5/3	2006/6/11	2006/7/29	2006/10/6
AJ 近畿	2006/3/5	2006/4/8	2006/5/13	2006/6/5	2006/8/10
	2006/7/29	2006/8/26	2006/9/9	2006/9/23	
AJ 岡山			2006/4/1	2006/5/5	2006/7/14
AJ 赤磐	2006/3/1	2006/3/29			
	2006/4/13	2006/5/11			

(オダックスランドヌール近畿の BRM1000 は総会時点では 7/14 開催予定だったが、総会后 ACP に変更要請を行い、8/10 への移動が認められた。8/10 開催予定だった近畿主催による非公式 1200km は 8/10 以降に実施される予定である)

以上をもって議事全部を終了し、17時00分閉会した。

この議事録が正確であることを証します。

2005年11月1日
議長 加藤 孝 印
議事録署名人 下國 治 印